

平成30年度定例第3回理事会議事録メモ

期 日 平成31年3月16日(土) 10:00～

場 所 正田醤油スタジアム群馬 会議室

1 開 会 岩井副会長

2 あいさつ 海野副会長

平成最後の理事会となる。2019年の事業計画が報告されるので、慎重審議をお願いします。

3 出席確認 理事総数58名 出席47名、委任11名 計58名

4 報告事項

(1) 日本陸連・関東陸協関係 (理事長)

・日本陸連 12月理事会開催。本県関係はルール面、審判面の報告が競技運営委員会からある。先日アジアユースにて、前橋育英高校の古沢君がケガにも関わらず、2位だった。

・関東陸協

後半の事業報告、新年度の事業計画が報告された。本県関係は、8月3週目に関東選手権が開催されるので、ご協力よろしく申し上げます。

埼玉県前会長西村氏に日本陸連功労賞に推薦することになった。

・実業団関係

反省会が行われた、通過市、関係部署から反省がでた。本協会関係では、スタート前に選手を管理する、VIPを入れる関係で、足湯、試食コーナーの移設をお願いした。選手のケガ等への対処にIP無線電話を使った。2区等で足を痛めた選手がいたが、迅速な対応ができた。選手は無事完走できた。

(2) 平成30年度各委員会度事業報告 (年鑑により説明)

①総務委員会 (総務委員長)

325ページ、4月春季記録会から無事事業ができた。年鑑作成にご協力ありがとうございました。

②財務委員会 (財務委員長)

NY駅伝の会計報告が済みました。

③競技運営委員会 (競技運営委員長)

327ページ、競技運営責任者会議の内容を掲載してある。今年度は大きなルール改正はないが、ロード競技の安全確保について、医師、医務担当者の確保(最低2名)が必要。非常時の対応について、公認大会になるためには、日本陸連から調査を受ける。選手の健康管理についても十分対応できるようにしなければならない。ロード競技については、タ

イム順に並べるようになる。オリンピック、世界選手権での参加基準が世界陸連へのポイント制になるので、結果の報告等も世界陸連に報告しなければならないので、世界陸連への報告に遺漏があると、記録が認められない。2019年度から新しいエントリーフォームを使うこととした。新しい書式を使ってください。

審判部

来年度に向けて往復はがきでの審判員の出席調査を送ったのでご回答よろしくお願ひします。平日開催の関東選手権、全日本マスターズ大会へのご協力よろしくお願ひします。

④強化委員会（強化委員長）

都道府県駅伝で6年連続第2位という素晴らしい結果であった。長距離では安定した強化が進んでいると思う。年間を通じて選手強化を進めてきたが、課題を解決しつつ9年後の群馬国体に向けていければと思う。特に進学に伴う競技人口の減少がみられるので、今後は検討する必要がある。タレントが生まれてきているので。国体総合成績8位入賞を目指して頑張っていきたい。

⑤普及委員会（普及委員長）

333ページに年間の報告を掲載した。全国小学生交流大会の日程が、8月10日日産スタジアムで開催されることになった。群馬県においては8月10日に県の水泳大会が行われるので、選手選考について留意してください。全国小学生交流大会の新しいコンバインド種目の得点表は、日本陸連のHPに掲載してある。国体を考えると、来年度の小1からタレントを発掘していけるようご協力をお願いします。

⑥その他

（3）中体連・高体連

中体連

来年度U-16 関東合宿が開催される。2020年には関東中学大会が開催される。部活改革で、本日も練習会を開催してる。来年度も練習会は同じくらい開催する予定である。地域においては、中学の陸上部が廃止される可能性もあるので、各クラブでもタレントの育成にご協力ください。

高体連

来年度は、高体連関係は大きな大会はないが、審判員のご協力を変わずにお願いします。

（4）その他

高崎経済大学

高崎経済大学記録会の要項を配布しましたのでご協力をお願いします。

5 議長選出

海野副会長 選出

6 協議事項

第1号 平成31年度事業計画並びに予算案について 承認
(競技運営委員長)

8、9頁に大会日程を掲載してある。その後の公認大会については、新たに連絡をください。10連休の関係で、高校地区大会とリレーカーニバルの日程を入れ替えている。5月に開催される群馬マスタース大会が全日本マスタース大会のプレ大会となっている。9月の全日本マスタース大会は、本協会としても特に参加人数、種目カテゴリが非常に大きな大会であるので、本協会でも慎重に運営する必要がある。公認大会については、日本陸連のHPに掲載されている。そこに掲載してある大会については、報告が必ず必要である。

0コントロールテストの実施が義務付けられた。

(財務委員長)

別紙に予算案を配布した。現在のところ、システム上はマイナスの予算案である。群馬陸協は、潤沢な資金があるわけではないことをご理解いたさきたい。

第2号 平成31・32年度群馬陸上競技協会役員について

353ページの通りお願いしたい。副会長選出クラブを決めてほしい。

中毛地区 前橋市陸協、伊勢崎市陸協

東毛地区 高崎市陸協、碓氷倶楽部

西毛地区 桐生市陸協、太田市陸協

北毛地区 渋川クラブ

派遣役員

関東陸協 高体連委員長、群馬陸協理事長

県スポーツ協会 海野副会長、

県指導者協議会 事務局長

ぐんまマラソン実行委員 理事長

ぐんまマラソン運営委員 副理事長、事務局長

第3号 その他

NYのウェア作成について。

(前橋) 不満の声が多かった。突然今までの状況を変えて新しいものを配った。それより現金を配ったほうが良いというような意見があった。現行の冬季審判ウェアは使い勝手が良い。来年変えると、1回だけかという意見が多かった。6月で間に合うなら、いろいろな意見を聞けると思う。

(利根) サイズがきつかった。シルバーの冬季審判ウェアの上に着たり。統一感がないという意見があった。数年に1度、更新するという意見もある、

(ヤマダ) シルバーはなかなかいいがもう作れないのか。

(副会長) シルバーから自分で購入することになった。大変な苦勞をしている方に負担をさせるのはよくない。財源を見つけていいものを配布するほうがいい。

(理事長) 県の予算は、昔の半分程度になった。いろいろ緊縮財政になってきている。スポンサーについても、各企業も緊縮財政のため難しい。今の冬季審判ウェアについては、ルール違反(背中のJAAFGunmaのロゴが多すぎる)であり、以後のウェアについては、現行の値段では作れない可能性がある。

(高崎) ウェアについては、色がよくなかった。作るならもっと計画して作ったほうがいい。新規のウェアを作るなら現場の声を聞いて、やってほしい。

(副理事長) 現状においてサイズの件は、大きめのサイズも作れる。

(副会長) 今年の基盤ができたので、次回大会あもう一度やってみる。新規の冬季審判ウェアは、もう少し長期的に検討して作る必要がある。

議長解任

7 その他

マスターズの登録が日本陸連登録をする必要があった。マスターズの方はダブル登録をするが、年鑑の購入をしなければならない。マスターズについては、年鑑を必要としないので購入をしないシステムを構築してほしい。

8 閉会 平方副会長